桜川文芸

俳句

【桜川市岩瀬「萩」俳句会】

夕されば祈るかたちの枯木山　鈴木たか子
余生とは枯れての後かいぼむしり　小林啓治
箒目を落葉追越し追越され　小林フク
今のいまを大事に生きむ冬銀河　三代みちよ
農衣干し農足袋を干し年惜しむ　渡辺いし
炊飯の湯気にぎやかに雁わたる　入山ひろ子

【茂山俳句会】

枯れ急ぐ中に住み古る大藁屋　松崎いま
百態の樹々も色分け枯れ急ぐ　植田祥雲
父らしく母らしくなる七五三　鈴木ノブ子
冬の夜の鍵きりきりと夫の留守　井坂洋子
枯れ急ぐ中やここにも石仏　竹林てる
磨崖佛おはす全山枯れ急ぐ　宮本芳江
日記果つ遠き日の影追ひしかな　田崎信子
町つなぐ要は大橋枯れ急ぐ　吉原秀子
一旦は余生締め切る十二月　泉健作
枯れ急ぐ山に流るる風の笛　海老沢幸子
落慶の唐招提寺文化の日　海老沢静夫
百年の大樹に聞くや枯れの声　今井繁子
天も地も黄葉明るく夕暮るる　大関くに
降りしきる雨街路樹の枯れ急ぐ　向後礼子
陽と風と吸ひ甘くなる吊し柿　鶴見菊江
鷹飛んで鈍色の空残りけり　飯山昭

【一般投稿】

線路背に椅子に坐りて日向ぼこ　木下善信

短歌

【真壁短歌会】

かぎろひのさやけく及ぶうから等の吟醸原酒に歳祝ぎの卓　岡村次雄
竜巻の通りし地域想いつゝ枝の落ちたる屋敷掃除す　塚本とよ子
こぼれ種にておちこちに咲く竜胆の青むらさきに安らぎ覚ゆ　根本英子
末期の水語りかけつゝ含ませれば紅さす口元かすかに笑むがに　増田芳江
遅れ咲く白粉花に螳螂の揺れつゝ止まるを窓越しに見つむ　渡辺ハルヱ

【一般投稿】

紅葉を見渡し登る蔵王旅峠の御釜は神秘の青濃く　梅井光子
一日とて同じ風なき柿落葉　大山しげ
日もすがらゆらりゆらり青柳　木下善信
立冬と聞けば霜なほ降らなくに　岩瀬きみ子
朝夕とかく炬燵恋しき　稲葉建正

俚謡

【さくら俚謡会】

家族揃って初日を拝むどうか幸せ多かれと　田哲人
炬燵へごろ寝の亭主の首をちょいと誘った宮参り　
酒を煽って虎の子抱いて夢は大きな　初詣

お詫びと訂正

前月号の中に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【岩瀬短歌会】

誤　職無くしハローワークに通う娘それでは母さんと声を大きく　萩原きしの
正　職無くしハローワークへ通ふ娘それでは母さんと声を大きく　萩原きしの

【岩瀬萩歌会】

誤　栄養もとれず働かねば難産とひたすら行き来し後期高齢者達　坪井ゆき子
正　栄養もとれず働かねば難産とひたすら生き来し後期高齢者達　坪井ゆき子

有料広告掲載募集中！
お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111・75-3111、内線1268
広報さくらがわ

有料広告掲載募集中！
お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111・75-3111、内線1268
広報さくらがわ